

## 国の動向等について

### 1 厚生労働副大臣の神戸モデル視察

令和元年5月20日、厚生労働省の大口副大臣が、神戸モデルの視察で来神。本市との意見交換、認知症疾患医療センター（西市民病院）を視察。

※副大臣の発言「神戸モデルが全国でも広がる形で進めばいい。（視察を）今後の認知症施策の参考にしたい。」

### 2 認知症施策推進大綱

国は、令和元年6月18日に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の後継となる「認知症施策推進大綱」を策定

この大綱の中で、「認知症に関する様々な民間保険の推進」の項目において、「いくつかの自治体において、早期診断の促進や行方不明時の捜索等と併せて、認知症の人の事故を補償する民間保険への加入を支援する取組が始まっている。これらの取組みについて事例を収集し、政策効果の分析を行う。」と記述

### 3 認知症基本法案

認知症の予防等を推進しながら、認知症の人が尊厳を保持しつつ社会の一員として尊重される社会（＝共生社会）の実現を図ることを目的とした、認知症基本法案が、令和元年6月に国会に上程されており、継続審議中

### 4 国への要望

本市から国に対して、下記のとおり要望。

- ・早期診断のための認知機能検診にかかる財政支援
- ・認知症の人が起こした事故に対する救済制度の創設及び認知症予防施策の充実

### 5 他都市視察・海外発信

神戸モデルに関する他都市から本市への視察（25箇所）、WHO神戸センター等を通じた海外への発信（5回）

#### （参考）民間保険会社の動向

民間保険会社での認知症に関連した保険商品が多数開発されている。

##### 【補償内容の例】

- ・認知症や軽度認知障害(MCI)と診断された場合の一時金支給
- ・認知症と診断され、介護保険の要介護1以上に認定された場合の一時金支給
- ・個人賠償責任保険を基本とし、見舞費用や行方不明時の捜索費用等を補償
- ・訴訟費用に対する補償